

## 元プロ野球投手、安仁屋宗八さんのクラブチームが西原で始動 —西原マリパーク安仁屋ベースボールクラブ—

広島東洋カーブなどで選手・コーチとして活躍した安仁屋宗八さんが監督を務める「西原マリパーク安仁屋ベースボールクラブ」が、西原マリパーク(宇東崎)を本拠地として結成されました。

このチームは、これまで安仁屋さんが監督として率いていたクラブチームに対し、西原マリパーク指定管理者の(株)クリード沖縄が支援を申し出て結成が実現。代表を務める玉城芳信さん((株)クリード沖縄代表取締役社長)は「地域や行政と協力して地元密着のチームを作りたい。」とチームの今後の抱負を語りました。

また、5月28日には西原マリパークで入団テストが行われ、関係者が応募者のプレーを厳しくチェックしました。投手テストでは、安仁屋さんが直接一人ひとりにアドバイスを送る場面も。指導を受けた参加者は「弱点をすくさま指摘し、気づかない部分に的確なアドバイスをいただいた。すごく嬉しい。」と感動した様子でした。



## 金秀グループ等が3団体へ寄附

金秀グループ(呉屋守将会長)の創業64周年を記念し、5月27日に寄附金の贈呈が行われ、町人材育成会(会長・上岡町長)へ100万円、町社会福祉協議会(新川善昭会長)へ30万円が贈られました。また、金秀グループの創業者で字我謝出身の呉屋秀信さんは、母校の西原中学校(平良嘉男校長)へ30万円を教育資金として寄附しました。上岡町長は「貴重な浄財を大事に使わせていただく。」と感謝し、代理で出席した佐久本聡教頭は「学習用に作った西原中オリジナルノートをたくさん製作したい。」と喜びを述べました。

金秀グループ創業64周年記念寄附金贈呈式



# まちの話題

## 東崎地区に新しい自治会組織が発足

マリパーク内にある東崎地域の住民が、4月1日に設立総会を開催、新しく東崎自治会を結成しました。東崎自治会は、行政区は兼久に属しますが、昨年11月に実施した地域清掃がきっかけで自主的な自治組織を作る動きが始まり、結成に至ったそうです。東崎自治会は地域の約7割に当たる49世帯が会員に加入し、今年度は清掃活動や交流会などの事業を計画しています。自治会長に就任した宮平友博さんは、東崎に住み始めて近所付き合いや子どもとの触れ合いの重要性を感じていると話し、「できたばかりで大きなことはできないが、できることからゆっくりと歩んでいきたい。自主的な地域組織として兼久自治会と連携し良好な関係を築いていきたい。」と今後の抱負を語りました。



## 「水は限りある資源です」 節水パレードで呼びかけ

水道に対する理解と関心を高め、水資源の大切さと節水を呼びかけることを目的に、町上下水道課と町管工事協同組合(呉屋信秀理事長)が6月1日、節水パレードを行いました。パレードの出発式では呉屋理事長が「町民へ、限りある水資源を大切に使うようアピールしよう」とあいさつしました。5月末に県内を縦断した台風2号の片付けなどで、一時的に水の使用料が大幅に増えたこともあり、11台の車両がアナウンスとともに町内を巡回し、節水などを呼びかけました。



## 収納対策で一斉電話催告を実施

国民健康保険税や保険料などの徴収強化のため、福祉部では、5月16日から20日までの特別対策期間と位置づけ、一斉電話催告などに取り組みました。町では、国民健康保険税が平成21年度までの累計で8億円余の赤字を計上。22年度では一般会計から2億円の繰り入れを実施したほか、介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育所保育料でも滞納があるため、厳しい財政運営を強いられています。その解消を図るため対策に取り組むことになり、16日には上岡町長や職員が未納分の催告を電話で呼びかけました。

上岡町長は「国民健康保険税や各種料金の滞納整理という課題は、難しい取り組みではあるが、長期的または悪質な滞納者には毅然とした対応が必要。住民負担の公平性を保ち、健全な行政運営のため、徴収体制の強化を図りたい。」と対策強化を述べました。

なお、このたびの収納対策により国民健康保険税約280万円、介護保険料約15万円、保育料約32万円などの徴収がされました。



## 学校と地域のネットワークづくりを目指して、CAT西原が幕開け公演を開催

音楽や芸術に触れながら学校、地域、子どもたちの交流・情報交換の場を作ろうと、CAT西原が結成され、5月19日に西原中学校で幕開け公演が開催されました。西原中美術部が作成した舞台板などで飾られた会場にたくさんの観客が訪れ、舞踊やアカペラ、合唱などを鑑賞しました。

西原中学校や同PTAなどで構成されたCAT西原は、コミュニティ(地域)、アート(芸術)、シアター(劇場)の頭文字を取って名付けられたとのこと。今年度は幕開け公演を皮切りに、夏休みのサマーコンサート、クリスマスコンサートなどを予定、季節感を感じる事業を計画しています。

CAT西原会長の与那嶺絹子さんは、昨年西原中を拠点にした学校支援ボランティアのコーディネーターを務めており、そこで構築されたボランティアのネットワークの協力で幕開け公演が実現したとのこと。与那嶺さんは「これをきっかけに、学校が地域の拠点のひとつとして、互いの関係づくりを広げ、保護者や地域と連携して子どもたちが安心して育つ環境を作ることを目指したい。」とこれからの抱負を語りました。



## 西原なぎなたクラブの小学生が大活躍!

第28回沖縄県小学生・中学生なぎなた大会が5月22日、与那原中学校体育館で開催され、各競技で西原なぎなたクラブ所属の小学生が好成績を残しました。キャプテンの花城琴乃さんは「先生から教わったことがきっちりでき、たくさんのメンバーがいい成績を残せて嬉しかった。」と喜びを語りました。各競技の成績は以下のとおり。(敬称略)

<演技競技>

小学5・6年生の部[優勝]喜久山彩恵(西原小6年)瀬長桃子(西原小6年)  
[3位]花城琴乃(西原南小6年)宮城奈々音(西原小6年)、石原かのん(西原東小5年)石川菜々子(西原小6年) / 小学3・4年生の部:[2位]新川珠羽(西原東小3年)奥山瑛梨南(真嘉比小)

<個人試合>

小学3年生の部[3位]新川珠羽 / 小学5年生の部[2位]石原かのん[3位]安次嶺心(西原東小5年) / 小学6年生の部[優勝]瀬長桃子

<団体試合>

[2位]西原なぎなたクラブA(喜久山彩恵・瀬長桃子・花城琴乃・玉那覇優風)

